

(写)

東京都知事 殿

新空港線早期整備着手に関する要望書

港 区	豊 島 区	川 越 市
新 宿 区	北 区	所 沢 市
品 川 区	荒 川 区	和 光 市
目 黒 区	板 橋 区	
世 田 谷 区	足 立 区	
澁 谷 区	葛 飾 区	
杉 並 区	江 戸 川 区	
	大 田 区	

新空港線は、平成 28 年 4 月の交通政策審議会第 198 号答申において、「矢口渡から京急蒲田までの事業計画の検討は進んでおり、事業化に向けて関係地方公共団体・鉄道事業者等において、費用負担のあり方等について合意形成を進めるべき。」と整備に向けた前向きな記載がなされました。

東京都は、「都民ファーストでつくる『新しい東京』～2020 年に向けた実行プラン～」や「都市づくりのグランドデザイン」（素案）において、第 198 号答申で「事業化に向けて検討などを進めるべき」とされた新空港線を含む 6 路線を、政策課題の解決に向けた具体的な取組みと位置付けております。

新空港線の整備は、このような東京都の政策方針の実現に寄与するものであります。具体的には、東急東横線や東京メトロ副都心線などとの相互直通運転を行うことで、渋谷、新宿、池袋及び埼玉県を含めた首都圏北西部地域の空港アクセスを著しく向上させます。加えて、今後発生が予想されている首都直下地震の際の重要な代替路線となり得ることから、沿線のみならず東京全体の都市機能も強化されるなど、首都東京の更なる発展に必要不可欠な路線であります。

また新空港線は、区部周辺部環状公共交通（エイトライナー、メトロセブン）の羽田空港へのアクセス向上、東京圏の鉄道ネットワークの更なる充実にも寄与する重要な路線であります。

答申を受けて整備に向けた関係者間協議（東京都・大田区・鉄道事業者・国）が行われており、課題整理がなされました。

その結果、費用便益比は 1.5 となり、社会的に見て意義のある事業と評価される 1.0 を超え、また需要予測の面からも採算が取れることが確認されるなど、検討の熟度も十分深まっております。

東京都におかれましては、このような主旨をお汲み取りいただき、新空港線の早期実現に向けて格別のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

平成 29 年 9 月 13 日

港 区 長

武 井 雅

昭



新 宿 区 長

吉 住 健

一



品 川 区 長

濱 野

健



目 黒 区 長

青 木 英

一



世 田 谷 区 長

保 坂 展 人

一



澁 谷 区 長

長谷部

健



杉 並 区 長

田 中

良



豊 島 区 長

高 野 之 夫

一



北 区 長

花 川

與惣太



荒川区長

西川

太一郎



板橋区長

坂本

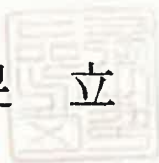
健



足立区長

近藤

やよい



葛飾区長

青木

克徳



江戸川区長

多田

正見



川越市長

川合

善明



所沢市長

藤本

正人



和光市長

松本

武洋



大田区長

松原

忠義



